平成 23 年 7 月 19 日

各　　位

会 社 名　株 式 会 社 マ ル マ エ
代表者名　代表取締役社長　前田　俊一
（ コード番号：6264　東証マザーズ ）
問合せ先　取締役ＩＲ担当　藤山　敏久
（ TEL. 0996-64-2900 ）

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、以下のとおり、最近の業績の動向、事業再生ＡＤＲ手続に関連した特別損失の計上等を踏まえ、平成 22 年 10 月 13 日の平成 22 年８月期決算発表時に開示した平成 23 年８月期（平成 22 年９月１日～平成 23 年８月 31 日）の業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

１．当期の業績予想数値の修正（平成 22 年９月１日～平成 23 年８月 31 日）

	売　上　高	営業利益	経常利益	当期純利益	１株当たり当期純利益
前回発表予想（Ａ）	1,100	△37	△134	△150	△8,090.61
今回修正予想（Ｂ）	1,210	△17	△64	△440	△23,732.47
増 減 額（Ｂ－Ａ）	110	20	70	△290	
増 減 率（　％　）	10	54.1	52.2	△193.3	
（参考）前期実績（平成 22 年８月期）	938	△227	△287	△405	△21,877.38

２．修正の理由

売上高につきましては、装置組立事業において、受注キャンセルが発生したことに伴い 59 百万円の売上減少が発生いたしましたが、精密切削加工事業において、スマートフォンやタブレット型パソコン需要拡大による受注の増加があり、当初予定よりも 169 百万円売上が増加する見込みです。これらの要因により、売上高は当初予定の 1,100 百万円から 1,210 百万円に増加する見込みとなりました。

費用及び損益の見通しにつきましては、装置組立事業において受注キャンセルに伴い材料費が減少したことと、精密切削加工事業においては、売上高の増加に伴った製造原価は増加しながらも、売上が拡大したことにより営業損失は当初見込の 37 百万円から 17 百万円に減少しました。また、営業損益の改善と当初発生予定だった工場稼働率低迷による遊休固定資産に関連する費用が発生しなかった事から経常損失も当初見込みの 134 百万円から 64 百万円に改善いたしました。

しかしながら、当期純利益におきましては、固定資産売却益 70 百万円等の特別利益 118 百万円が発生しながらも、事業再生ＡＤＲ手続及び、抜本的な事業再生計画を推進する事に関連し、事業構造改革費用 267 百万円と固定資産の減損損失 227 百万円を特別損失に計上する事により当初

予定を下回る見込みとなりました。

これらの事情によりまして、平成 22 年 10 月 13 日の平成 22 年８月期決算発表時に開示した平成 23 年８月期（平成 22 年９月１日～平成 23 年８月 31 日）の業績予想を修正いたします。

以　上

(注)本資料に記載されている当社の通期業績予想は、本資料の日付時点において入手可能な情報による判断及び仮定を前提にしており、実際の業績は様々な要因によって異なる場合があります。